



よしだ 議会だより



吉田公園 オータムフェスタ

第87号

吉田町議会

〒421-0395
静岡県榛原郡吉田町住吉87
TEL:0548-33-2141
平成29年11月発行
責任者 議長 藤田和寿

| | |
|---------------|----|
| 平成29年第3回定例会 | 2 |
| 一般質問 9人が町政を問う | 7 |
| 出前会議 | 16 |
| 委員会報告 | 18 |
| 町のボランティア紹介 | 19 |

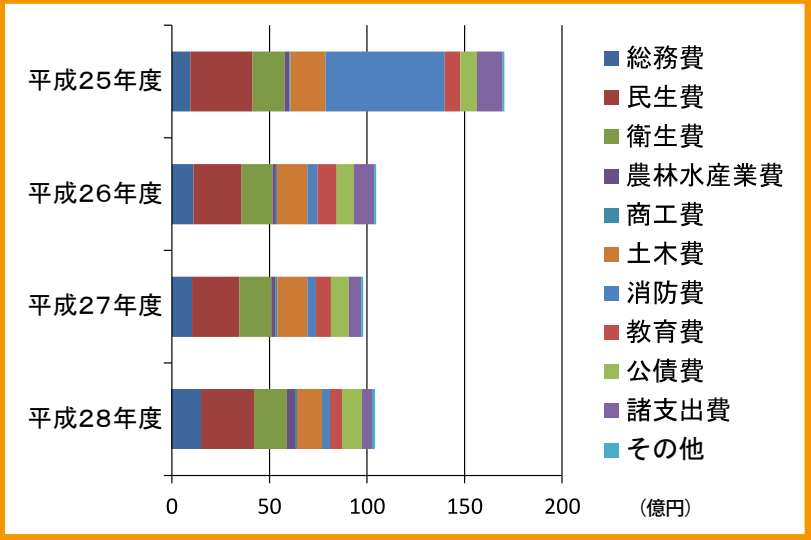
会計、企業会計決算を で 認 定

28年度一般会計決算

| | |
|-----------|--------------------|
| 歳入総額： | 108億8,187万円 |
| | (前年度 103億861万円) |
| 歳出総額： | 103億5,813万円 |
| | (前年度 97億9,778万円) |
| 歳入歳出差引残額： | 5億2,373万円 |
| | (前年度 5億1,083万円) |

9月1日から22日までの会期で第3回定例会を開催し、28年度一般会計、特別会計、企業会計の決算認定7件、補正予算5件、条例の制定1件、人事案件3件、工事請負契約の締結1件の計17議案を審議し全会一致で可決・認定・同意した。また、議員発議による意見書と吉田町教育改革調査特別委員会設置を可決した。

歳出決算の変遷



28年度一般会計決算質疑

歳入

問 法人町民税が16.3%減額した。毎年、大手9社で法人税の約50%を納税しているが、災害などによる資本の引き上げに対して、町では大手納税者に、訪問説明や産業育

答 震災以後、町内大手の22社に津波防災まちづくりを説明して納得いただいた。町はさまざまな産業の

成対策はしているのか。事業税などの優良品税事業者は、島田税務署からの表彰があるが。

問 滞納整理が進んだが、

答 静岡地方税滞納整理機講に要請をして過年度分の滞納整理とともに、現年度分の催告を実施し、電話催告および文書催告を行った後、差し押さえ処分をしたことにより収納率が上がった。町の職員も滞納整理機構と同じような手法で収納率向上に努めた。

問 農業生産所得金額と納税者が増えたが。

答 認定農業者および後継者と新規就農者支援を行うことにより、優れた経営感覚を備え、意欲を持って農業を担う人材を増やす努力をした。特にレタス農家7人が、売り上げを伸ばした。

28年度一般会計、特別 全会一致

28年度の主な事業



榛原総合病院 負担金

3億8,296万円



吉田町浄化センター改修費

1億7,313万円

| | |
|---------------------|-----------|
| ・母子保健衛生費 | 1億7,489万円 |
| ・都市防災総合推進事業防災公園整備事業 | 1億5,274万円 |
| ・教育振興事業 | 5,005万円 |
| ・放課後児童健全育成事業 | 4,432万円 |
| ・臨時福祉給付事業 | 4,341万円 |
| ・まちづくり賑わい創出事業 | 4,202万円 |
| ・高島9号線道路改良事業 | 1,484万円 |

歳出

【総務費】

問 職員研修はどのように行っているか。

答 市町村職員研修、自己研さんの

研修の2つの勉強手法がある。新規採用職員を対象とした事前研修では、奉仕者としての役割、責任を自覚するとともに、地方分権に伴う自律的な政策形成や組織運営を担うことのできる職員を育成する。

問 FM島田「吉田まちかど情報」と

よしだスマイルラジオ番組放送事業の2つの事業がある。放送内容は同じで、一本化できないか。

答 FM島田は、広報よしだを活用し町の出来事や行政のさまざまな情報を提供している。よしだスマイルラジオ番組放送は大

井川流域で開催されるイベントなどを積極的に放送している。目的が違うので一本化はできない。

問 生活交通確保対策は。

答 吉田町公共交通会議を設置して、町内を運行するバス路線を具体的に把握するとともに、今後の方向性について、バス会社やタクシー会社を含めて検討した。

問 内陸フロンティア推進事業は。

答 川尻高島地区の用途見直しがあれば、民間が開発し、企業誘致をする。

【民生費】

問 高齢者福祉サー
ビス事業特別養護
老人ホーム、よしだア
スカの里開所後、一年
たつが現状は。

答 吉田町内在住者
の入所施設、介護
度3以上の方が入所で
きる。18人が生活して
いる。2カ月に一度運
営委員会を開催し、安
心、安全な施設として
いる。

問 放課後児童健全
育成事業費、放課
後児童クラブの対象と
利用料は。

答 保護者が労働な
どにより、昼間家
庭にいない小学1年～
6年生の児童が対象と
なる。

児童一人当たり7千
円、同一世帯の兄弟姉
妹の第2子は5千円、
第3子以降は無料とな
る。非課税世帯の児童
が利用する場合は特例
がある。

【衛生費】

問 生活排水改善対
策事業の合併処理
浄化槽の設置状況は。

答 町内の下水道事
業計画区域外に64
基、事業計画区域内に
5基、合計69基が合併
処理浄化槽の設置がで
きた。
生活排水による水質汚
濁防止が図られた。

【農林水産費】

問 町内の耕作放棄
地の現状と対策は。

答 町内農地440ha
のうち、耕作放棄
地は12haある。耕作
放棄地対策として、意
欲ある農業者へ農地を
斡旋し、耕作の再開や
保全管理の徹底を図
り、遊休農地の解消と
発生防止に努めている。

【商工費】

問 小山城売店の手
数料は。

答 28年から売店の
手数料について契
約した。売り上げの
10%をいただき、観光
振興に協力してもらい
地場産品やよし吉グッ
ズを売店に揃えている。

問 しらすマーケッ
トへの支援は。

答 南駿河湾漁業協
同組合吉田支所が
実施した第6回しらす
マーケットに産業振興
補助金を交付し、生し
らすの販売や試食会を
通じて特産品である
「吉田のしらす」の認
知度向上が図られた。

【土木費】

問 河川改修につい
て湯日川の河床の
しゅんせつ工事は。

答 昨年より湯日川
の下流部からしゅ
んせつ工事が始まって
いる。島田土木事務所
は新たに検討をして県



吉田たんぼ稲刈り



湯日川しゅんせつ工事

立吉田特別支援学校付
近までしゅんせつ工事
が進んでいる。

問 都市公園愛護会
支援事業とは。

答 公園の愛護活動
のボランティアが
町内に6団体ある。報
償金を交付し、草刈り
など協力していただい
ている。

【消防費】

問 防災行政無線が
デジタル化される
が、防災ラジオは使え
るか。

答 災害時における
情報収集、伝達の
充実を図る。デジタル
化に向け調査設計が行
われた。防災ラジオは
34年まで使える。

平成28年度特別会計・企業会計決算状況（千円）

| 事業会計名 | 歳入 | 歳出 | 差引残額 |
|-----------|-----------|-----------|---------|
| 土地取得事業 | 446 | 440 | 6 |
| 国民健康保険事業 | 3,444,330 | 3,244,148 | 200,182 |
| 後期高齢者医療事業 | 236,346 | 236,105 | 241 |
| 介護保険事業 | 1,894,677 | 1,713,810 | 180,867 |
| 公共下水道事業 | 1,140,143 | 1,112,112 | 28,031 |

水道事業決算（千円）

| | 収入 | 支出 |
|-----------|---------|---------|
| 収益的収入及び支出 | 604,411 | 494,094 |
| 資本的収入及び支出 | 20,118 | 345,418 |

資本的収入額が資本的支出額に不足する額325,300千円は、減債積立金15,000千円、建設改良積立金60,000千円、過年度分消費税資本的収支調整額14,661千円、過年度分損益勘定留保資金125,626千円、当年度分損益勘定留保資金110,013千円で補填。



地域密着型特養「アスカの里」

**土地取得事業
特別会計決算質疑**

問 財産の処分計画はあるか。

答 目的に沿って取得しているもので、不要なもの売却していただく必要がある。

**国民健康保険事業
特別会計決算質疑**

問 1億9千万円の基金の使用目的は、保険給付費の不足に備える基金である。

答 ある。

**介護保険事業
特別会計決算質疑**

問 介護予防の支援サービスが進んでいるが、介護認定申請をしていない人がいるのでは。

答 28年度から介護認定の期間が延び、申請件数が減っている。

**公共下水道事業
特別会計決算質疑**

問 1軒当たりの布設管工事費が6950万円増えているが、国道150号の推進工法や工事区域箇所によるものである。

答 国道150号の推進工法や工事区域箇所によるものである。

**水道事業
特別会計剰余金の処分及び決算質疑**

問 給水能力に余力はあるか。

答 現在給水人口3万2千人に対して、3万6千人の給水能力がある。

議員発議

道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書

(要旨)

道路事業では、高規格道路や交付金事業の嵩上げ（50%を55%等に嵩上げ）がされており、平成29年度までの時限措置となつている。

補助率等が低減することは地方の努力に水を差すものである。よって、来年度以降も現行制度を継続することを強く要望する。提出先―衆参議長・内閣総理大臣など（全会一致で可決）

吉田町教育改革調査特別委員会設置に関する決議

(名称) 吉田町教育改革調査特別委員会

(目的) TCP・トリ

ピンス・プランに関する調査・研究を行い教育改革に寄与する。

(委員の定数) 6名

(設置期間) 右記の調査研究が終了するまで(理由)

TCP・トリピンス・プランは、授業日の標準化を軸とした教育改革として、教師、子ども、保護者が三者共益に向けた施策を行う計画である。

吉田町議会は、このプランについて調査研究し、より多くの情報共有、十分な理解が必要であると考える。

(賛成多数で可決)
賛成議員―山口一博、大石巖、山内均、三輪正邦、杉本幸正、八木栄、増田剛士

平成29年度一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出総額 2億5,711万円を補正し、
 予算総額 117億5,511万円となる。

主な歳出項目

| | |
|------------------------|--------------------------------|
| ○住宅を新築・購入する若者世帯への補助金増額 | 2,400万円 |
| ○住吉小学校雨漏り修繕工事 | 2,360万円 |
| ○住基システム改修委託料の増額 | 1,500万円 |
| ○第2子以降の子ども出産への祝い金増額 | 1,100万円 |
| ○問屋川の護岸工事費の増額 | 894万円 |
| ○財政調整基金 | 1億8,336万円（29年度末見込額 15億0,005万円） |

主な質疑

問 若年者住宅取得補助金の対象に、改築は該当しないのか。

答 定住が県平均を下回っており、定住が視点であるため、改築は該当しない。

問 水産事業補助金（吉田漁港給油施設更新工事）は補正ではなく、当初予算に入

答 築40年経過し、腐食が見つかり急ぎよ補正予算で更新することとした。



吉田漁港の給油施設

問 浜田土地区画整理事業の担当者が3人から2人になった、なぜ減員するのか。

答 事業計画を見て人員を配置しており問題ない。

問 住吉小学校の雨漏りは耐震工事の影響ではないか。

答 今年に入って確認した。原因はペランダ防水シートの劣化と考える。

問 公共施設の定期点検のシステムはないのか。

答 目視など点検しながら検討していく。

問 老人福祉施設への防犯設備交付金はこれで終わりか。

答 手を挙げたところから申請している。今後も検討していく。

条例の一部改正

・吉田町印鑑条例（改正理由）

本年10月より個人番号カード（マイナンバーカード）を利用して、コンビニエンスストアなどに設置してある多機能端末機から住民票写しや印鑑証明などが取得できるよう条例を改正する。

工事請負契約の締結

・公共下水道吉田浄化センター電気設備更新

工事
 契約金額 1億1340万円

契約相手方 東芝インフラシステムズ（株）
 静岡支店

人事案件

副町長の選任

・副町長 森泉文人氏

委員の任命

・吉田町固定資産評価委員 森泉文人氏

・吉田町教育委員 増田真也氏



コンビニの多機能端末機



町政を問う

大石 巖 議員

問 新学習指導要領の対応と考え方は

答 子どもの確かな学力を身につける施策

TCPP・トリビンス・プランの教育施策には多数の意見があります。
授業時間の増加や教師の多忙化などの問題は学習指導要領に起因していると思います。
町の対応と考え方について質問しました。

問 学習指導要領では「教育課程の基準を大綱的に定めるもの」となっているが、保護者からの質問に「学習指導要領は法的拘束力を有す」と回答しているが、どうか。

答 学校教育法に明示され、文部科学大臣の告示として定められ、最高裁判決でも、法的拘束力を有すると解されている。

問 英語教育の時間が増える反面、国語力の低下が危惧されるがどう考えるか。

答 国語は学習や生活の基盤であり、すべての教科の中で一番多く配分されている。

問 「カリキュラム・マネジメント」として、教育現場の責任が一層強められ、教師への重圧が増すのではないか。

答 外国語助手（ALT）を全校に配置し、より質の高い教育を実施する。また、学力調査は、教育の成果や効果を表す一つの指標で、授業改善に生かすことが重要である。

問 「社会に開かれた教育課程」とは。
答 教育課程を通して、より良い社会を創るといふ理念を学校と社会とが共有し、資質・能力を身につけ、社会との連携および協働によりその実現を図るといふことである。



問 新指導要領の内容や対応策について教育関係者にどう説明したのか。

答 内容を周知したうえでプランを作った。プランの説明と合わせて主旨を説明している。

問 首長（町長）が教育行政にも関わることができるようになった。総合教育会議に、今後において先駆的となる町独自のより良い教育の提案のあり方を具体的に考案するよう指示しているが、プランは町長の主導で策定されたと理解していいか。

答 明治の学校制度は9月開校であったが、4月開校に制度が変わり学年の中間に夏休みがあることで、学力定着のマイナス要因となっている。週5日制の確保、教員の準備の時間を確保する必要がある。

問 吉田町では授業時間増加の対応策として3案、①土曜日を授業日とする②平日の授業時間を増やす③長期休業日を授業時間とする中から決めたというが、文部科学省では①夏休みを短くして授業日を確保又は土曜日授業を行う②15分授業（モジュール授業）×3日を加えて45分、又は60分授業×3日（15分延長の3日分）③45分授業を単純に1コマ増やす④これらを組み合わせて授業時間を確保する案である。なぜ吉田町は文部科学省と違う3案を町民に提示したのか。

答 土曜日は休日、モジュール授業や1時間授業では日々の多忙を解消できない。

問 教員数を増やし、30人学級に努力すべきではないか。
答 国の定数で定められている。



問 教育元気物語・TCPトリビンスプランは

答 三者(教職員・子ども・保護者)共益の実践

問 TCP・トリビンス・プラン(以下TCP)の対応の具体策は。

答 新学習指導要領の主な改定点は、
①小学校三、四年生に外国語活動、五、六年生に教科として外国語を新設する。授業時間は長期休業日を活用して捻出する。

②小・中学校全ての教科などで、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行う。来年度から授業日を二二〇日にし「授業日の平準化」を図り、教師の授業準備時間の確保のため、五、四時間日の時間割を検討する。

問 TCPの進捗状況および来年度の準備は。

答 このプランは総合的な教育政策プランである。三つの方向性を定める。

①「子どもの「確かな学力」を保障する環境

づくり」は、快適な学習環境の整備として全教室、特別教室へエアコンを設置した。

外国語・国際理解教育の推進として、ALTを四人体制とし、各小中学校へ一人ずつ配置した。幼児教育の推進として、作成した幼児教育カリキュラムに基づき教師・保育士用指導書を作成し質の高い幼児教育をする。幼児教育から小中学校までの一貫教育の推進をする。ラーニングプラン事業における学力調査結果を分析しTCPに活用する。

②「教職員が授業に専念できる環境づくり」は、学校閉庁を設定し先生方が休める環境を整えた。学校事務の効率化は「授業に専念できる環境づくり委員会」を開催し具体的手立てを検討中である。校務アシスタントは全小中学校に展開していきたい。

③「保護者の教育ニーズに応じた環境づくり」は、学校給食の実施日を拡張する。放課後子ども居場所づくりやスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを全校に配置しきめ細かい対応をする。七月から「吉田町TCPトリビンスプラン環境推進本部」を設置し円滑化を推進する。

問 教員の多忙化解消は。

答 住吉小学校で、教務会、拡大未来夢プロジェクト委員会などを組織し、校務の整理、教職員の意識改革を図りタイムマネジメントやタスクマネジメントの意識を高めていく。



ALT(ベルニカ先生)との授業の様子(自彊小)



町政を問う

増田 剛士 議員

問 「学校が持ちこたえられない」とは

答 教員の業務量増の限界認識である

教職員の多忙化、多忙感の解消と学校教育の環境づくりについて質問を行った。

問 小学校の授業日数増加による教職員の多忙化、多忙感の解消に関し分析と効果は。

答 4時間授業日の設定により授業日数を増加したところ、平均退庁時間が早くなり、成果は明確である。4時間日の設定は、教職員、子どもたちにとりを生むことができ、特にその有効性と有用性をうかがえた。

問 多忙感に関する調査は。

答 どのような仕事に多忙感を感じるかという調査によると、「負担感」「不安全感」「孤独感」「不公平感」などを抱く仕事であり、「達成感」「充実感」「公平感」「使命感」などを感じる仕事

では「多忙であっても多忙感」はない、という調査結果である。

問 退庁時間を守るため持ち帰り仕事の増加は。

答 データとしてはない。持ち帰り仕事が増加している認識ではないが、これによる増加は認識していない。

問 文部科学省「教員をめぐる現状」に関し当町の学校現場の現状と対策は。

答 学校組織自体が鍋蓋型の組織と言われ、横の連携は強いが上司、部下といった縦の指揮命令系統が機能しにくいものである。そのため指導、業務が、個人任せになり、児童生徒に十分な理解のないまま授業が行われたり、不適切な生徒指導により問題が複雑化した事案がある。対策として、今年度から指導主事を4人体制

とし、定期的に教育委員会が学校訪問し授業参観を行い、指導助言を行っている。

問 「学校が持ちこたえられない」とはどういった現状か。

答 社会の変化に伴うさまざまな教育の充実が求められている中、以前に比べ教員の業務量が増加していること、求められることを確実に実行するためには、現在のやり方では限界がある、という現状認識によるものである。

問 構造改革の具体策は。

答 授業日の平準化により授業日数を拡張し、6時間を削減し、4時間日の設定による教職員の多忙を解消することである。2つ目として、教科などの授業以外で学校が抱えている活動の精選である。「やめる」「変える」「減らす」の発想で、学校、家庭、地域が連携を図り、改革を進めていくことである。



未来の学校夢プロジェクト指定校
吉田町立 住吉小学校



町政を問う

山口 一博 議員

問 中学校部活動の今年度の改善は

答 指摘を踏まえ指導・改善している



*部活動が、要因となる、吉田中学校の時間外勤務時間数が、35分軽減されている。

*土日共に行っていた部活動が、いずれかに実施され解消されている。

昨年、校長が教員に対し、負担軽減の指導を行った。

答 昨年の質問を受けて、教育委員会として吉田中学校に対して、部活動の在り方について、指導・改善を求め、校長が教員に

対し、負担軽減の指導を行った。

問 昨年9月定例会時の私の一般質問で、吉田中学校の部活動時間、教職員の週間勤務時間などを質問したが、今年度は改善されたか。

| | H29年 | H28年 |
|-----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 土曜と日曜共に部稼働 | 11部 | 14部 |
| 土曜または日曜に部稼働 | 6部 | 3部 |
| 教職員の土・日での部活動 (平均勤務時間/一人) | 土曜3時間50分 日曜2時間35分 =6時間25分 | 土曜3時間45分 日曜3時間15分 =7時間00分 |

28年・29年4～7月比較

吉田中学校 23部活

問 住吉小学校は、昨年より県から未

来の学校「夢」プロジェクト、また今年度文部科学省より、「学校現場における業務改善加速のための実践研究事業」の重点モデル地域の一つになっているが、教員多忙化解消や授業の質向上などにおいて、働き方改革や業務の見直し、また子どもたちに向き合っていく時間を確保していくのかなどを、エビデンス(科学的根拠)・データをどの様な方向性・事柄について出すのか。

答 施策を行う上で

行った結果はどうであったのかと言うことを、定量的・定性的に分析し、根拠をもって説明することが重要であり、このことは、教育においても同様であると考えている。

昨年度より業務改善に取り組んでおり、その成果としては「時間外勤務実態調査」など教職員の勤務状況の改善や、「全国学力・学習状況調査」など子どもの確かな学力向上の結果などのエビデンスをもとに、取り組みの目的・目標との関係で、その成果がどうであったかということをしっかり検証をしていく。



住吉小鼓笛隊



町政を問う

山内 均 議員

問 災害時物資支援協力に関する協定内容は

答 町がまず有償で買い受ける

**商業店舗誘致の
防災に関する協
定について。**

吉田町は誘致した商業店舗2社と「災害時物資支援協力に関する協定」を結んでいる。内陸フロンティアの地域に出店いただく方々とは、防災上の取り組みを共有していただける企業でないかと誘致はしないという条件になっている。

問 磐田市はコンビニ業者と、救援物資の提供に関する協定を締結した。吉田町はどうか。

答 コンビニやそれ以外のところと、どうやって提携をしていくかというのは今後の課題というところである。

問 袋井市の災害時の救援物資の提供に関する地元業者2社との協定では、災害時において両社が保有するペットボトル飲料を救援物資として、被災者に無償で提供する協定内容である。

答 吉田町の協定内容は、供給をしてくださる皆さんとは町が協定を結んでいる。直接的に町民の方にダイレクトに商品がわたるといふ協定にはなっていない。

問 町がまず有償で買い受ける。

**大型店舗と既存
店舗との間の競
合について。**

問 対策は考えているか。

答 経営基盤の強化、付加価値を図るなど個人事業者による個々の経営改革が必要となる。その役割を担う商工会が講じる対

策と連携した支援を行っていかねばならない。

問 この町を次につなげる構想は。

答 内陸フロンティア総合特区を利用し、吉田インター周辺も、次の魅力につながるような土地利用を図っていきたい。



都市計画道路富士見幹線沿いの商業施設集積地周辺



町政を問う

八木 栄 議員

問 年間授業日数220日以上の経緯は

答 28年4月に町長が検討を指示

6月初旬、いきなり「吉田町の夏休み10日間」との報道が流れた。その後、お盆前後の土、日曜日を含め16日間とする。と、全国的にも異例の短さなどの記事。4地区で開かれた保護者説明会では、参加者から夏休みの期間について多くの意見が出された。私は、出前会議での意見交換や、個人的にも多くの保護者から意見を伺った。その結果、授業日数220日以上を設定を決定した理由と、プロセスの説明不足が町民に不安を与えていると考えた。また、教職員からの意見も聞けない中で、教職員、保護者の納得が無ければこのまま実施することは難しいと考え質問をした。

問 1日当たりの授業時間を減らすことによる放課後児童クラブの施設、支援員や、中学生の放課後の過ごし方など、問題の解決はされているのか。

問 夏休みの短縮を図る事と決定されたが、①提案者は誰②いつ③何の会議で④どんな意見が出たのか。

答 ①町長
②28年4月
③総合教育会議
④「新時代を読み取った新プランが示され事は大変素晴らしい。」
「子どもが安心して登校できる学校の場を提供していただける事は保護者として安心。」
などまた、年間授業日数220日以上を実施するにあたっては、夏休みのみが短縮されるわけではなく、増加する授業日分は、長期休業日から捻出する方向で現検討している。

問 プラン策定過程で保護者や教員の意見を聞かず、会議で話し合った形跡も無い。民意を反映していないのでは。

問 本年7月に「吉田町TCPトリビンスプラン環境整備推進本部」を設置。7月末に第1回の会議を開催し、問題点を検討している。

問 教職員からは、夏休み短縮についてどの様な意見が出てくるのか。

答 前向きな意見とある。否定的意見として、負担が軽減されるとは思わない。

問 将来的には220日以上の授業日数になるのか。

答 無目的に授業日数を増加させる意図は無い。

平成29年度夏休みの日数比較表

| | | | |
|-------|------|---------|------|
| 吉田中学校 | 29日間 | 大井川中学校 | 37日間 |
| 住吉小学校 | 23日間 | 榛原中学校 | 34日間 |
| 中央小学校 | 24日間 | 細江小学校 | 33日間 |
| 自彊小学校 | 24日間 | 大井川西小学校 | 38日間 |

問 夏休み短縮を原案のまま進めるのか。

答 原案のままではなく、修正したうえで進める。

問 選挙で選ばれた町長が出席する総合教育会議で合意したことは民意の反映。その後、町民から意見を聞いている。



町政を問う

三輪 美由紀 議員

問 筋肉トレーニング機器の充実を

答 リニューアルし機器を充実させる

総合体育館トレーニングルームには有酸素運動のランニングマシン、エアロバイクなどの機器が設置されている。他の市町では、胸、腹筋、腕、足、背中の筋肉を鍛える機器がある。利用者からアンケートをとり筋肉トレーニング機器の充実を願う声や機器の説明をして欲しいとの声があり、質問を行った。

問 町では健康づくりに力を入れていますが、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、生活習慣病の人、老若男女問わず、総合体育館トレーニングルームを使い、健康づくりの考えは。

答 27年度利用者からのアンケートを踏まえ、胸、肩、背中など上半身の機器を充実する。また体重計、血圧計、体脂肪、基礎

代謝量を測る体組成計を活用して、運動不足解消、筋力アップなど個々の目的に合わせ簡単に操作できる機器を検討していく。健康の保持増進、筋力アップ、競技力向上など個々の体力や目的、ライフスタイルに合わせ老若男女問わず、気軽に楽しくトレーニングができるように環境整備を図る。30年4月総合体育館リニューアルオープンに併せ機器の充実やインスタラクターの配置を図っていく。



藤枝市のトレーニングルーム

問 ふるさと納税の「誰もがいきいきと暮らせる町づくり」に寄せられた寄附金を活用し、総合体育館トレーニングルームでの機器の充実を図る予定はないか。

答 ふるさとよしだ寄附金基金は寄附者の意向に沿った事業の財源に活用していくものである。財源としてふるさとよしだ寄附金基金を活用することについて今後検討していく。



牧之原市のトレーニングルーム

問 トレーニングルームの入り口が暗く分かりづらいが。床の改装、照明器具をLEDに変え、トレーニングをしたくなるような標示をしたい。

問 利用している人が一人の時の緊急の対応は。
答 ボタンを押せば事務室に連絡ができる赤いランプやブザーなどを考えていきたい。



問 富士見土地区画整理組合の清算は

答 組合もプロセスを検討している

富士見土地区画整理組合は、保留地の売却を始めてから20年が過ぎ設立者にも時代の大きな変化が訪れ、組合員ならびに次の世代にも不安がつきまとうとの声が聞かれ質問をされました。

問 公園用地の代わりは考えていますか。

答 土地区画整理事業における公園の設置については土地区画整理法施行規則第9条第6号に規定されている。

この規定は、特別な事情により、やむを得ないと認められる場合以外は組合、公共施行を問わず遵守することが義務付けられている。公園面積940平方メートルと定めて用地を確保し事業を進めてきたが、命を守る対策の一つであるE地区の津波避難タワーの適地として公園用地が選択され

組合の賛同を得て建設された。津波避難タワーの設置により遊具やあずまやなどを設置する用地は確保できなくなったが、子どもたちの遊び場、地域のコミュニケーションの場として活用されている。新たな公園用地を生み出すためには、換地の変更や事業計画の変更など、新たな問題が生じてくるため慎重な議論が必要と認識している。



E地区の津波避難タワー

問 現在の状況ではない、先が見えにくい。新たな対策は。24年度以降は一件も売却なし。

答 防災機能の強化について多目的広場、川尻工区の防潮堤の強化など着実に新たな安全がもたらされてきている。保留地の販売も好転すると期待している。



富士見土地区画整理地区内保留地

問 組合の清算に向けて対応策を考えているか。

答 町広報誌や不動産情報などへ積極的に情報提供を働きかけていく。町も吉田土地区画整理事業助成要綱に基づき支援をしていく。組合としても、解散に向けてさまざまなお話を検討し始めたところだ。



町政を問う

蒔田昌代議員

問 産後の母乳ケアに助成の考えは

答 母乳ケアの助成に早期に対応する

吉田町のライフステージごとの支援事業にはさまざまな事業がある。その中でも特に妊娠・出産・子育てのライフステージにおいては、つながりのある細やかな支援が必要と考える。現在行われている事業などについて質問した。

問 妊産婦・新生児訪問事業について現在どのように行われているか。

答 在宅助産師、保健師の3人と委託契約を結び、実施要領に基づき行われ、「妊婦訪問」は、初めて妊娠した方や特に支援が必要な方へ妊娠中に家庭訪問を行う。出産後は「産婦訪問」「新生児訪問」として全員の方へ家庭訪問を行っている。28年は町内の妊婦223人中約4割に当たる88人を、「新生児訪問」は227人のお子さんへの訪問指導を実施

した。

問 妊娠時と出産後で訪問を行なっているが、良く相談されるものにもどういったものがあるか。

答 「妊婦訪問」では出産後の育児不安など、「新生児訪問」では赤ちゃんがよく泣くがどうしたらいいかの育児相談や母乳が足りているのかの母乳に関する相談、お母さん自身の体のトラブルの相談などがある。

問 「よしにこパッケージ助成」の町民からの反応はどうか。

答 28年度から開始した「出産等支援交通費助成事業」を拡充し、29年4月1日以降に出産される方に対して、妊娠、出産時の通院に係る費用助成に加え、産後における検査や新生児期の検査費用もパッケージにして助成する「よしにこパッケージ助成」を開始し、増額した。8月末現在の申請者数は64人である。妊娠32週以

降であれば、出産する前から申請ができる。

問 産後のサポート事業の母乳・育児相談をどのようにとらえているか。

答 28年度からより専門的な授乳・育児に関する相談や手技に関する指導が自宅で実施できるよう、助産師の訪問による産前産後サポート事業を開始し、相談に随時対応している。

問 母乳トラブル時に助成をする自治体もある。このサービスに助成の考えはあるか。

答 電話や来所での専門的な授乳・育児相談には、医療的ケアや乳房ケアが必要な場合は、実施機関の紹介も行っている。パッケージなど早くに組み込んでいく。



母子健康手帳

8月9日(水) 19:00~20:30片岡会館に於いて、町議会初の出前会議が開催されました。

参加人数21人 傍聴者37人 報道関係者11人
参加議員9人

山口一博・大石巖・山内均・三輪正邦・杉本幸正
八木栄・河原崎昇司・増田剛士・藤田和寿議員
欠席議員4人
三輪美由紀・遠藤孝子・蒔田昌代・大塚邦子議員

町議会初の 出前会議を開催

一次第一

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議員紹介
- 4 開催目的およびテーマ説明
- 5 意見交換
- 6 グループ発表

申し込み団体

吉田町の教育を考える会
代表

中田博之氏

テーマ

T C P 教育元気物語について



吉田町議会基本条例第8条に定められています。

第8条 議会は、町民と町政全般にわたる意見交換を行い、その意見を議会活動に反映させるため、出前会議を随時開催するものとする。

- 2 出前会議については、議長が別に定める。

【解説】

議会は、町民から求められたテーマを決めて、町民と自由に意見交換をすることができる出前会議を開催できることを定めています。

手続き

- ・開催ができる団体 ①町民で組織する団体
②町内で活動する団体
- ・希望する日時を第3希望までを記入
- ・当日参加希望の人数を記入
- ・会場は、吉田町内で費用・会場設営は団体が負担

詳細は、議会事務局へお問い合わせください

出前会議って何ですか？

グループ発表



Bグループ

- ・教員の多忙化の中身が不明である。現状のチェックが必要である。
- ・授業日数を220日にするにあたり、夏休みを短縮することで地域の祭りなどの行事への参加に関し心配がある。
- ・子どもの視点が抜けている。
- ・エアコン導入が夏休み短縮の理由にならない（町長の過去の発言を受けて）。
- ・教員の多忙化解消、学力向上など今後のチェックが必要である。

出前会議の意見交換を踏まえ、
後日開催の全員協議会で協議し、
今後の議会活動にいかしていきます。

議会の対応

Aグループ

- ・夏休み短縮について、子どもや教員の意見が反映されているのか疑問。
- ・決定プロセスに疑問がある。教育委員会から直結で決まっているのか。
- ・吉田町独自のプランは、町民で考えて行くことも必要である。
- ・TCPトリビンスプラン自体は、良い面が説明不足である。
- ・夏休み短縮について、見直しを願う署名を集めた。これを提出する。

Cグループ

- ・教員の意見を聞きたい。子どもの意見、保護者の意見を聞きプランにいかしてほしい。
- ・TCPトリビンスプランに関し、現状分析ができていないのか疑問である（教員の多忙化について、夏休み短縮は始まっているので、短縮以前との比較）。
- ・年々夏休みが短縮されているが、その効果はどうか。
- ・議会に特別委員会の設置を求める。そこで、今後のチェックをしてほしい。



総務文教常任委員会調査報告 「地域包括ケアシステムについて」

団塊の世代が75歳を迎える2025年に備えた
地域包括ケアシステムを調査・研究する



おしゃべりサロン・カフェ

7月11日 福祉課から、住まい・医療・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステム構築の実現について説明を受けた。
7月18日 町が取り組んでいる高齢者移動支援事業・声かけ隊・居場所づくりについての質問を決定した。
7月26日 生活支援サービスの充実・強化について回答を受けた。
8月25日
①9月2日 みんなの居場所「ふつか会」。
②9月3日 おしゃべりサロン・カフェ。
視察することを決定した。

総務文教常任委員会
委員長 山内 均

| | | |
|------|---------------|--------------|
| | みんなの居場所「ふつか会」 | おしゃべりサロン・カフェ |
| スタッフ | ボランティア | ボランティア |
| 参加費 | 100円 | 100円 |
| 目的 | 自宅以外の居場所づくり | 元気な100歳を目指す |
| きっかけ | ラジオ体操 | ボランティア養成講座 |
| 特徴 | 参加は自由 | 参加者が友達を誘う |

産業建設常任委員会調査報告

「道路・河川及び都市公園の管理及び整備について」

豪雨時の道路冠水や劣化した道路の補修、河川の改修や管理について、町民から行政に対する要望を調査、研究する。



北区の現地調査

6月26日 所管事務調査の内、道路の補修や管理についての現状と改善策に関して、①道路の管理及び整備についての基本的な考え方②各自治会からの道路に関する土木要望の実施状況について、当局から説明を受けることを決定した。
7月12日 右記質問事項について当局から説明を受けた。
7月27日 議会報告会で要望のあった箇所について現地調査の必要性や調査する視点を検討し、9カ所を現地調査することを決定した。



川尻区の現地調査

8月29日 町内9カ所の現地について、当局の説明を受けて現地調査した。
9月5日 現地調査の結果について意見集約を行った。
9月21日 これまでの調査について、中間とりまとめを行い、引き続き河川の管理及び整備について調査することを決定した。
産業建設常任委員会
委員長 大石 巖

地域を守るボランティア団体紹介

住吉区森下町内会 森下毘沙門天祭り

毎年9月3日に行われています森下毘沙門天について、町内会長さんにお話を伺いました。

祭りは明治の初めから今日まで150年の歴史があり天保年間に堂守りがいたといわれています。
12年に一度、寅年にお開帳を行い「善の綱」といって、毘沙門天の手から五色の糸をたらし、晒布あびぬに結び付け、町内に張り巡らし、奉納した人に下げられます。着用すると無病息災で暮らせるといわれています。



毘沙門堂



日限地藏尊



23年に町内会の皆さんの協力を得てお堂を建てました。「第2集会場、老人憩いの家」「毘沙門堂」として使用されています。建設時に幟旗の寄進をお願いしたところ176本のお気持ちをいただきました。

毎年地域の人たち、200人くらいの方が信仰されお参りをしていきます。
また、船元の方の信仰が特に厚いと言われています。夜は町内会の演芸大会が開かれ、歌や踊りがにぎやかに行われます。

住吉区上組地内 日限りのお地藏さん 大円寺境内

縁日

大祭8月26日
毎月26日

世話人の方にお話を伺いました。

大円寺の先代が、大正の初め、金谷町五日限の地藏尊を勧請

し、創設したものである。

諸願成就の地藏尊で、願いがかなった人たちが上げた赤い幟のぼりや垂れ幕があり、地藏尊には頭巾や衣がかけられ、座布団の上に安置されています。

ご利益は人々の苦しみや悩みごと、願い事をいついつまでにと日を限ってお願いする。

多くの善男、善女の願いが叶い喜ばれています。

8月26日大祭には70人くらいの方が、毎月26日には20人くらいの方がお参りにきています。

地域の行事を大切にこれからも多くの皆さんに諸々のご利益が授かるよう守ってまいりたいと思っています。

議会フェイスブックページから、議会情報の発信中。
こちらからどうぞ
<https://www.facebook.com/yoshidachougikaict>



(QRコード)

動画や写真のスライドショーなど、
議会活動の様子をご覧いただき、ご意見をお寄せください。

第15回吉田町議会報告会出席のお礼

第15回議会報告会には多くの方々のご参加をいただき、誠にありがとうございました。
議会報告会でいただいたご意見やご要望は報告書を持って回答させていただく所存であります。
次回のご出席をお待ちしております。

吉田町議会議員一同

ま ず の 話 題



吉田町芸能祭



吉田中学校 活力祭



住吉区交通安全パレード



北区秋祭り

あ と が き

七五三の晴れ着が目
に賑やかな季節になり、
今年も月捲りが、二枚を
残すだけになりました。
さて、町議会では開か
れた議会を目指し、定例
会を始めとする、委員会
や協議会を傍聴下さる
ように、広く募っていま
す。

昨年一年間で、四回の
定例会傍聴者では延べ
110人を数え、アンケート
によれば議員・議会・委
員会活動に興味関心が
あると30人が答えられ、
議員への叱咤・要望も寄
せられました。

また、ICT特別委員
会では、動画配信を調
査・研究をしています。

(K・Y)

議会広報特別委員会

委員長 三輪美由紀

副委員長 山口 一博

委員 蒔田 昌代

大石 巖

三輪 正邦

河原崎昇司